

本災害派遣の特色

① 自衛隊史上最大規模の災害派遣

人員 : 延べ 164万・日 (伊勢湾台風災害派遣 63.4万・日)

車両 : 延べ34.7万両

航空機 : 延べ7,000機

② 自衛隊との関係の薄い地域における戦後最大の地震災害への対応

③ 早期から中部方面総監松島陸将が直接指揮

(38豪雪の際に方面総監指揮の例はあるが、・・・)

④ 広範多岐な各種活動の実施

従来の災害派遣では考えられない広範で多岐に亘る活動を実施した。

ア 倒壊家屋の解体処理

イ 被災者のための天幕展帳支援

ウ 道路啓開

エ 液状化した神戸港の整備

オ 神戸市内の生活ゴミ等の処理

カ 瓦礫輸送支援

キ 慰問演奏

ク 神戸上空を飛来する航空機に航空情報の提供

ケ 巡回診療及び救護所設置による診療

コ 御遺体の輸送支援

サ 雨天対策のためのシート張り支援



⑤ 各種の試みの実施

本災害派遣はその規模に於いて、活動の広範さ故に中部方面隊としても効果的な災害派遣活動のために色々な試みを模索しつつ実行した。

その主要なものは次の通りである

- ア 空域管理（我が航空機に対しては空域管理により、他航空機に対しては航空情報提供により、王子競技場周辺上空の航空安全を確保した。）
- イ 県庁との連絡調整所（総監部副長を長とする強力なスタッフを県庁に派遣し、県知事以下県庁との主要事項の調整を実施させた。）
- ウ 方面兵站支援群
- エ 道路交通情報センター
- オ 政府現地対策委員への総監部防衛部長の任命
（小生の代わりに殆ど訓練課長が対応する。）
- カ 陸自被災者救援センターの設置検討
- キ 陸自物流管理センターの開設検討